

まんのう町立琴南中学校 公開授業研修会

(まんのう町教育委員会 研究指定)

志水宏吉先生 講演会

『香川の教育力とその課題』 —解決への道標—

【志水宏吉先生の紹介】

東京大学教育学部助教授を経て、現在、大阪大学大学院人間科学研究科教授。

専攻は学校臨床学、教育社会学。

著書に『学力を育てる』（岩波新書）、『公立学校の底力』（ちくま新書）、『学力政策の比較社会学〈国内編〉・〈国際編〉』（明石書店）、『格差をこえる学校づくり—関西の挑戦—』（大阪大学出版会）、『学校にできること—一人称の教育社会学—』ほか。

学校現場に深く入り込み、そこで見た教師と子どもの現実の姿を基に、学力や教育に果たす家庭・学校・地域の役割など地に足のついた教育論を展開されています。

月日：平成 25 年 10 月 30 日（水）

場所：まんのう町立琴南中学校・まんのう町立琴南公民館

日程

<琴南中学校 公開授業研修会>

10:20~11:10 ・公開授業（3校時）

11:20~12:10 ・公開授業（4校時）

13:20~14:10 ・公開授業（5校時）

<全体研修会（琴南公民館）>

14:30 ・開会

14:35~15:15 ・琴南中学校 提案発表

15:15~16:25 ・講演

講師 大阪大学大学院人間科学研究科教授

志水 宏吉先生

16:30 ・閉会

<参加申込>

所属名	名前	公開授業(琴南中)	講演(全体研修会)

※ お申込みの方は 10 月 23 日（水）までに FAX（0877-73-0113）にて、まんのう町教育委員会 学校教育課 佐柳まで送付下さい。

※ 参加される公開授業、講演に○印を記入して下さい。午前の公開授業から参加される方は午前と記入下さい。

まんのう町立琴南中学校 公開授業研修会

「生徒が共に学び合う授業」をめざして

生徒同士が互いに支え合い、進んで学習に取り組めることをめざし、本年度から学習院大学教授（東京大学名誉教授）佐藤 学氏が提唱する「学びの共同体」の考え方を参考に、全ての生徒が共に学び合う「協同的な学び」を取り入れた授業改善に取り組んでいる。

○ 提案Ⅰ 「協同的な学び」を取り入れた授業実践

◇ 2段階の学習課題の設定

- ・「共有の課題」

授業の前半、協同的な学びを通して基礎的・基本的な内容を自分なりに理解させることにより、特に低学力層の底上げを図る。

- ・「ジャンプの課題」

授業の後半、学習内容をより深く学ばせることにより、低学力層から高学力層に至る全ての生徒の学びの保障を図る。

◇ 「コの字型」や「3～4人の小グループ」の学習形態

- ・ 生徒同士の距離感を縮めることで、学び合いを一層深める。
- ・ 一人の生徒の発言を他の生徒が共感的に理解するという良好な関係性を構築する。



○ 提案Ⅱ 教師同士が学び合う「同僚性」を高める研究協議の工夫

生徒の姿から見出した気付きを、経験を問わず対等な立場で、率直に述べ合う研究協議を追究する。

◇ 生徒の「学び」を見とることを中心にした授業参観

- ・ 座席表を基に生徒同士の学び合いや関わり合いの様子を見る。
- ・ 生徒がどこで学び、どこで学び合いが途切れたか、それはなぜかを中心に見る。

◇ ビデオやカメラによる「生徒の学び」の共有化

- ・ 生徒の具体的な姿を基に、教師の指導をどう改善すればよいのかについて意見を述べ合う。

◇ ホワイトボードの活用による協議内容の共有化

- ・ 研究協議で述べられた意見の要点を整理して書くことにより、授業改善のポイントを共有する。



<10月30日(水) 公開授業予定>

時刻		学年	教科	授業者
10:20~11:10	3校時	全学年	体育	大林 良太
11:20~12:10	4校時	1年	音楽	三貴 万理子
		2年	数学	山神 淳
		3年	社会科	大矢 貴信
13:20~14:10	5校時	1年	理科	金家 弘枝
		2年	国語	岡本 浩子
		3年	英語	下家 真由美